

# 伊丹市交通事業経営戦略<<前期5ヵ年行動計画(第3次アクションプラン)>>

## 平成29年度個別行動計画項目別進捗状況

### 1 経営健全化の推進

#### 重点施策(1) 定員管理の推進と給与の適正化

✓ 取組状況のレベル

☆☆☆……具体的な取組を実施した

☆☆……具体的な検討・協議を行った

☆……調査・研究中等

※  は昨年度までに達成した取組

【成果指標】 営業収益に対する人件費の割合 (平成26年度値)83.3% (目標値)90.0%『↓』 (平成29年度値)86.8%

※(目標値)に記した『↑』『↓』『=』の表記は指標の性質を示し、『↑』は上回ることを目標とするもの、『↓』は下回ることを目標とするもの、『=』は同じ値を目標とするもの

#### 【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の取組状況
1-1-1	適正な乗務員数の確保	正規乗務員不補充の継続	正規乗務員の補充は引き続き実施していない。 (年度末正規乗務員数平成28年度135名⇒平成29年度132名) ☆☆☆
		嘱託乗務員採用	新たに嘱託乗務員11名を採用し、適正な乗務員数を確保した。 (年度末嘱託乗務員数平成28年度48名⇒平成29年度54名) ☆☆☆
1-1-2	事務管理部門の効率的な組織体制の整備	事務管理部門の組織再編	平成28年度実施済。 
		バス停施設維持管理業務への職員新規配置の休止	退職ならびに市長部局との人事交流により、2名減員した。 (4名⇒2名) ☆☆☆
1-1-3	技能労務職員の給与の適正化	技能労務職給料表の切替	
1-1-4	能力主義の導入	人事評価制度による給与査定を検討	事務職員は、引き続き市長部局と同様の人事評価制度を実施した。 乗務員は、独自の評価項目を盛り込み試行的に実施した。今後は、より客観的な視点等を取り入れた新たな評価項目等を盛り込むべく、労使協議を継続した。 ☆☆
1-1-5	労働条件の整理	特別休暇運用方法についての労使協議	病気休暇等の取得の適正化を図るべく、平成30年度からの実施を目指し、労使協議を継続した。 ☆☆
		変形労働時間制の検討	研究中 ☆
1-1-6	嘱託乗務員の確保	報酬月額の見直し	他社局の動向を確認し、平成30年4月1日からの報酬月額アップ(+8,300円)に向け、労使協議を行った。 ☆☆

重点施策(2) 乗車料収入の増

【成果指標】 乗車料収入(税抜・特別乗車証分を除く) (平成26年度値)1,437百万円 (目標値)1,470百万円『↑』 (平成29年度値)1,446百万円

乗車人員(特別乗車証分を除く) (平成26年度値)9,001千人 (目標値)9,085千人『↑』 (平成29年度値)9,130千人

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度取組状況
1-2-1	運行系統と効率的ダイヤの検証	全面ダイヤ改正の実施	実施時期検討中。また、現行ダイヤの微調整のため、平成29年9月に一部ダイヤ改正を実施した。 ☆☆☆
		運行系統の再編	研究中 ☆
		空港線の見直し	伊丹空港ライナー(仮称)の運行に関し、本市交通政策課との協議を実施した。 ☆☆
1-2-2	利用実態の把握	ドライブレコーダー映像による乗降者数調査の実施	平日ダイヤと土休日ダイヤの各1日で調査を実施した。 ☆☆☆
1-2-3	雨天時の対応	雨天時の特別ダイヤの導入	臨時便での対応を行うとともに、試験的運行継続。 ☆☆
1-2-4	モビリティ・マネジメントの推進	出前講座の実施	小学校12校で実施した。 ☆☆☆
		市内一斉清掃への参加	市内一斉清掃(7月)に局内職員(有志)が参加した。 猪名川クリーン作戦(2月)に局内職員(有志)が参加した。 ☆☆☆
1-2-5	新たな運賃制度の検討	新乗継割引制度の検討	研究中 ☆
		昼間割引制度の検討	研究中 ☆
		企画乗車券の発売	平成30年度に実施される「伊丹まちなかバル」への参画に向けた新たな企画乗車券を検討するとともに、実行委員会と協議した。 ☆☆
		IC定期券の検討	研究中 ☆
		全国相互利用ICカードの検討	2020年度の導入に向け、スケジュール作成、概算費用検証等を行った。 ☆☆
1-2-6	運賃改定の実施	消費税率引き上げに伴う運賃改定の実施	研究中 ☆

重点施策(3) 広告料収入の増

【成果指標】 広告料収入 (平成26年度値)22,330千円 (目標値) 23,400千円『↑』 (平成29年度値)26,050千円

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	平成29年度の評価
1-3-1	新たな広告媒体の検討	ICカード広告枠検討	平成28年度に中止決定した。	
		広告ジャック車両の売り込み	市内企業に企画提案を行ったが、契約には至らなかった。	☆☆
1-3-2	ラッピングバスの増車	市内事業者への広告PRチラシの配布		☆☆☆
1-3-3	停留所ネーミングライツ導入施設の拡大	市内事業者への広告PRチラシの配布	平成30年度の実施に向けて企画を行った。 (平成29年度はラッピング車両1両の増車と停留所ネーミングライツ1社の増加となった。)	☆☆☆
1-3-4	新規スポンサーの開拓	市内事業者への広告PRチラシの配布		☆☆

重点施策(4) 庁舎・車庫等の維持管理

【成果指標】 庁舎改修工事の進捗率(完了を100%とする) (目標値) 100%『=』 (平成29年度値) ー

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	平成29年度の評価
1-4-1	庁舎の老朽化対策	庁舎耐震化改修工事	耐震補強他工事の設計業務に関する入札を実施し、落札業者との委託契約を締結した。また、設計を進める中で、本市担当課に平成30年度に向けた工事の概算見積の依頼を行った。	☆☆
1-4-2	有蓋車庫の老朽化対策	有蓋車庫の代替案検討	研究中	☆
1-4-3	遊休資産の活用	遊休資産(土地)の活用	敷地北側の遊休地は民間駐車場用地として活用していたが、庁舎耐震補強他工事に係る仮設庁舎用地として一時的に活用することとし、工事完了後は、引き続き民間駐車場用地として活用予定とした。	☆☆

重点施策(5) 車両更新計画の(再)見直し

【成果指標】 年度末車両保有台数 (平成26年度値)94台 (目標値)90台『↓』 (平成29年度値)93台

年度末在籍車両平均車齢 (平成26年度値)8.56年 (目標値)8.68年『↑』 (平成29年度値)8.75年

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	評価
1-5-1	乗合車両使用年数の延長	整備内容、計画の検討	試験的運行継続中(16年目2両、17年目車両1両)。	☆☆☆
		他社局取り組みの事例の研究	他社局の事例調査から、今後は路線状況や個体差について分析し、効率的な車両運用方法について研究する。	☆☆
1-5-2	(再掲) 運行系統と効率的ダイヤの検証	全面ダイヤ改正の実施	実施時期検討中。また、現行ダイヤの微調整のため、平成29年9月に一部ダイヤ改正を実施した。	☆☆☆
		乗合車両の減車	平成28年度に1両減車、現行ダイヤにおいて適正台数を確保。次期全面ダイヤ改正で改めて検討予定。	☆☆

重点施策(6) 貸切事業の廃止

【成果指標】 ————— (目標値) — (平成29年度値) —

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	評価
1-6-1	貸切事業の廃止	関係条例等の改廃	平成27年度末実施済。	/
1-6-2	大型貸切車両の売却	大型貸切車両売却	平成28年度実施済。	/

重点施策(7) 一般会計と負担区分の明確化

【成果指標】 総収益に占める基準外繰入金(\*)の割合 (平成26年度値)5.5% (目標値)6.3%『↓』 (平成29年度値)5.1%

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度取組状況
1-7-1	独立採算を基本として経営	関係部局との積極的な協力	引き続き協議する。 ☆☆
1-7-2	適正な補助金のあり方の検討	営業係数125以上の不採算路線補助金の見直し	市長部局(都市交通部)との協議が整い、民間平均の人件費ベースで路線別収支を算定し、なお収支不足を生じる路線を補助対象とする補助基準に見直すことを決定。平成30年度から新基準を適用した補助制度に移行。 ☆☆☆
1-7-3	特別乗車証負担金のあり方の検討	特別乗車証負担金のあり方の検討	「交通事業の経営維持」と「特別乗車証制度の維持」の両立を基本的な考え方に据え、現行の負担金のあり方について引き続き検討を行った。また、ドライブレコーダーの映像データを活用し、特別乗車証を含む利用実態調査を実施した。 ☆☆

(\*) 基準外繰入金・・・地方考公営企業繰出基準に基づかない補助金等

## 2 安全対策・サービス向上の推進

### 重点施策(1) 運輸安全マネジメントの徹底

【成果指標】 有責事故件数（平成26年度値）39件（目標値）30件『↓』（平成29年度値）27件

#### 【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	評価
2-1-1	乗務員研修	安全教育プログラムの充実	外部講師による接遇研修、運転者適性診断受診を継続して実施した。	☆☆☆
		ドライブレコーダーの活用	事故映像を活用した研修、SDカードを活用した事故惹起者等への追跡指導を継続して実施した。	☆☆☆
2-1-2	安全管理体制の構築	乗務員班長制度の検討	研究中	☆
		トップと職員の意見交換会の開催	「管理者への意見箱」を引き続き設置し、広く意見等を募った。 意見交換会については未実施。	☆☆
		アルコールチェック	アルコール検知器の使用と目視等での酒気帯び運転の有無の確認を徹底した。	☆☆☆
		SAS(睡眠時無呼吸症候群)チェックの検討	簡易検査を実施した。	☆☆☆
2-1-3	事故防止対策	ヒヤリ・ハット「事故の芽」報告制度	平成28年度から実施済。	/
		事故防止マニュアル作成	完成に向けて作業を進めている。	☆☆
2-1-4	危機管理等の体制整備	BCP(事業継続計画)の整備	具体的施策として、大規模災害時対応マニュアルの策定を進めている。	☆☆
2-1-5	人材育成への取り組み	運転技術指導員の配置検討	指導員1名を配置し、事故・苦情惹起者等への添乗による指導を継続した。	☆☆☆
		再任用職員による技術継承	研究中。	☆

重点施策(2) 運賃制度の研究

【成果指標】 新制度等の企画・販売 (目標値) 3種類発行・販売『↑』 (平成29年度値) —

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度取組状況
2-2-1	(再掲) 新たな運賃制度の検討	新乗継割引制度の検討	研究中 ☆
		昼間割引制度の検討	研究中 ☆
		企画乗車券の発売	平成30度を実施される「伊丹まちなかバル」への参画に向けた新たな企画乗車券を検討するとともに、実行委員会と協議した。 ☆☆
		IC定期券の検討	研究中 ☆
		全国相互利用ICカードの検討	2020年度の導入に向け、スケジュール作成、概算費用検証等を行った。 ☆☆

重点施策(3) 停留所施設等の整備

【成果指標】 前期5ヵ年停留所施設改善箇所数 (目標値) 30箇所『↑』 (平成29年度値) 3箇所

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度取組状況
2-3-1	バス待ち環境の改善	上屋新設可能停留所の調査、整備	2基を設置した【池尻(西野向き)・松ヶ丘(住友北向き)】。 ☆☆
		収納式ベンチの設置	1基を設置した【桜ヶ丘8丁目(桜ヶ丘2丁目向き)】。 ☆☆
		既存施設の更新	4箇所で更新した(大阪国際空港のりば他3箇所)。 7箇所で固定化を行った【鈴原6丁目(鈴原4丁目向き)他6箇所】。 ☆☆
2-3-2	サイクル&バスライドの環境整備	既存駐輪場の保全	作業員による保全作業を継続して実施した。 ☆☆☆
		用地確保にむけた本市への働きかけ	本市交通政策課との協議を継続して実施した。 ☆☆

重点施策(4) 定時性の確保とバス情報

【成果指標】 全路線合計の定時性確保率 (平成26年度値)100% (目標値)100%(=) (平成29年度値)100%

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	評価
2-4-1	定時性確保の取り組み	関係機関との調整協議	市道(伊丹市、尼崎市、宝塚市、川西市)、兵庫県土木事務所、兵庫国道事務所へ次年度の道路改良などの工事予定等を調整・協議した。	☆☆☆
		PTPS車載機器を全車両へ設置		
2-4-2	バスロケーションシステム導入の検討	バスロケーションシステムの検討	市長部局(都市交通部)との協議を継続して実施した。	☆☆

重点施策(5) 職員意識改革

【成果指標】 乗務員の接客等に関する意見・要望件数 (平成26年度値)216件 (目標値)100件『↓』 (平成29年度値)168件

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	評価
2-5-1	サービス精神の醸成	サービス介助士の拡充	3名が新たに資格取得した(平成30年3月末時点での資格保有者は69名)。	☆☆
		接客、添乗研修の実施	接客研修に外部講師を招聘し、97名が受講した。	☆☆☆
		他社局との研修交流	研究中	☆
		異業種間での研修	民間短期派遣研修として、伊丹シティホテルへ乗務員を派遣した。	☆☆
2-5-2	モチベーションの向上	表彰制度の充実	平成28年度実施済。	
		報奨制度の検討	研究中	☆
2-5-3	(再掲)人材育成への取り組み	運転技術指導員の配置検討	指導員1名を配置し、事故・苦情惹起者等の添乗による指導を継続した。	☆☆☆
		再任用職員による技術継承	研究中	☆

重点施策(6) グリーン経営の推進

【成果指標】 軽油1ℓ当たり乗合車両走行キロ (平成26年度値)2.182km/ℓ (目標値) 2.204km/ℓ『↑』 (平成29年度値) 2.136km/ℓ

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	
2-6-1	エコドライブ・エコオフィス	グリーン経営認証の継続	10月に認証定期審査(書面)を受け登録継続と判定された。	☆☆☆
		エコドライブ研修の実施	運行管理者による伝達研修や掲示による啓発を継続して実施した。	☆☆☆

重点施策(7) 情報公開と広報活動

【成果指標】 交通局ホームページアクセスログ数 (平成26年度値) 667,327件 (目標値) 734,000件『↑』 (平成29年度値) 726,107件

【個別行動計画】

No.	項目	達成への取組	平成29年度の実施状況	
2-7-1	広報活動の推進	ホームページの充実	研究中	☆
		バス車両を活用した広報	研究中	☆
2-7-2	経営戦略の進捗管理と情報公開	個別取組項目の進捗管理	平成28年度の実施状況について、ホームページで公表を行った。	☆☆☆
		財務状況の公表	予算及び決算概要、経営戦略における投資・財政計画との比較については、ホームページで公表を行った。 また、公営企業の抜本的改革の取り組みの一環として総務省が進める「経営比較分析表」の公表について、平成28年度決算から交通事業も対象となり、同表についてもホームページで公表を行った。	☆☆☆
2-7-3	イベント等への積極的参加	イベント内容の再検討	イベントの内容及び要する人員の見直し等を行った。	☆☆☆
		市バスグッズ等の発売	市内イベント等で販売した。	☆☆☆